

# 一般財団法人水原フィラテリー財団

## 2021年度事業報告書

2021(令和3)年4月1日～2022(令和4)年3月31日

【概要】2021年度は「切手の博物館」開館25周年にあたり、小規模ながら年間を通して周年記念事業を行ないました。また、日本国際切手展2021(8/25～8/30)の開催があり、郵便切手文化に注目が集まった年でもありました。切手の博物館には永年にわたる郵趣の発展に対して、日本郵便株式会社から感謝状と記念品が授与されました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度に引き続き、事業計画の一部は休止あるいは中止しましたが、感染症対策を施し、変更を加えながら計画の多くを実施しました。

### I. 継続事業

#### 1. 資料の収集、保管、公開

郵便切手類及び郵便切手関連資料を収集、保管するとともに、展覧施設「切手の博物館」における展覧会を通して公開しました。

##### (1) 資料の収集・保存管理

- ①日本及び世界各国の新切手を常時購入し、発行国別・地域別にレファレンス・コレクションとして整理・管理を行っています。
- ②図書収蔵委員会を月1回開催し、郵便切手関連資料の購入検討、新規受入図書の項目別クロス・インデックス作り及び収蔵図書の件名統一を続けています。
- ③郵趣文献類については、25名の方から744冊(単行本103冊、雑誌636冊、CD-ROM5点)が寄贈されました。(公財)日本郵趣協会(以下(公財)略)及び(株)日本郵趣出版発行の全刊行物、並びに郵趣団体発行の支部報や雑誌の寄贈も受けています。
- ④東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をレガシーとして未来に継続していくため、東京2020大会に関する郵便切手類を収集・保存しています。
- ⑤世界の歴史に残る大きな出来事を郵趣史として記録するため、新型コロナウイルス(COVID-19)を題材とした郵便切手類を収集・保存しています。

##### (2) 企画展示・特別展示の開催

展覧施設「切手の博物館」において、以下の展覧会を開催しました。

###### ①企画展示

1階展示室でテーマを替えて行いました。2020年度に引き続き、展示替えを4ヵ月ごととしました。展示内容及び広報については、企画展示委員会において協議しています。

会期	展覧会名	開館日数	観覧者数(名)
4月2日(金)～8月1日(日)	切手 de 考古学	104	1,676
8月3日(火)～11月28日(日)	恐竜	103	2,443
12月1日(水)～3月31日(木)	美しき凹版切手の世界	98	2,456
合計		305	6,575

## ②特別展示

○3階展示室で、有料展を次の通り開催しました。

会 期	展 覧 会 名	開館日数	観覧者数(名)
12月4日(土)～12月25日(土)	切手の博物館のクリスマス	19	748
2月3日(木)～2月13日(日)	切手の博物館開館25周年記念	10	290
合 計		29	1,038

○3階展示室で、無料展を次の通り開催しました。

7月22日(木・祝)～8月29日(日)…東京2020応援プログラム

「体験！切手展～東京2020オリンピック・パラリンピックとつながろう～」

「きて★みて★きって2021 体験！切手はり絵」

9月1日(水)～9月5日(日)…第18回切手はり絵コンテスト作品展

※以下の期日に豊島郵便局が臨時出張所を開設（一部は日本郵便東京支社の要請により開設中止）、小型印の押印サービスを実施しました。

5月6日(木)…切手の博物館お手紙イベント 母の日（出張所開設中止）

5月18日(火)…国際博物館の日（出張所開設中止）

12月7日(火)・21日(火)・24日(金)…切手の博物館のクリスマス

2022年2月11日(金・祝)…切手の博物館開館25周年記念

## (3) 蔵書の公開

「切手の博物館」図書閲覧室では、蔵書を開架図書と閉架図書に区分し、一般の利用に供しています。閉架図書の利用は42名、133冊でした。

## (4) 入館料の特典

「切手の博物館」の入館料に以下の特典を設けました。

①毎月23日・ふみの日（8月は休館日に当たるため24日(火)）に、入館料無料に代わり招待券（有効期間なし）を配布。

②厚生労働省が推進する「児童福祉週間」（5月1日(土)～5月5日(水・祝)）に、小中学生入館料無料に代わり切手はり絵キットをプレゼント。

③国際博物館会議（I COM）及び(公財)日本博物館協会（以下(公財)略）が提唱する「国際博物館の日」（5月18日(火)）の入館料無料。（入館者数28名）

④切手の博物館開館25周年記念企画として、毎月25日に25日生まれの人入館無料。

⑤日本博物館協会・I COM(国際博物館会議)等他機関の会員証の提示で入館料無料または減免。

### 休止した入館無料の特典

○毎月23日・ふみの日（8月は休館日に当たるため24日(火)） ○「児童福祉週間」（5月1日～5月5日）の小・中学生対象 ○「家族ふれあいの日」（東京都他）として毎日曜日、家族連れの小・中学生対象 ○バレンタインデー（今期は2022年2月13日(日)を充当として計画）の女性対象

## 2. 展覧施設（「切手の博物館」）の運営管理

### (1) 来館者サービス

「切手の博物館」の来館者の満足度を高めるために、以下のサービスを提供しました。

①館内を余すところなく楽しんでもらうための「切手の博物館・攻略ガイド」をホームページに掲載。

- ② 1階のパソコン・コーナーでは、企画展示のテーマに合わせて全国の風景印を紹介。
- ③ 展示の観覧を助けるルーペ及びハンドライトの貸出し。(貸出人数135名/149名)
- ④ 図書閲覧室では、国内外の新刊本・話題本などを紹介すると同時に、一部の書籍を販売。また、コピーサービスを提供。(コピー利用人数77名)
- ⑤ 「司書の三つ押し」と題したお勧め図書(閉架図書を含む)の無料閲覧サービスの実施。(毎月更新)
- ⑥ すべての企画展示で、ホームページにプレゼント・クーポンを付与。(交換人数487名)
- ⑦ 小中学生向けに、展示を見て答える「切手クイズ」を実施。(参加者445名)
- ⑧ 切手の博物館のイベント案内や新切手の発行案内などを掲載した情報チラシ「MAYっこ」を、毎月1回、ふみの日(23日)に発行。
- ⑨ 「自画像切手ポストカード」作成代金を70歳以上の来館者へキャッシュバック。(利用人数21名)
- ⑩ 英文パンフレットの配布。
- ⑪ 公衆無線LAN「Wi-Fi」サービスの実施。
- ⑫ 開館25周年企画として

○企画展示と連動した切手図案のスタンプを各展覧会で設置 ○25人に一人、25周年記念オリジナル・フレーム切手をプレゼント ○はがき、レターセット購入者に「お便り de プレゼント」シールを配布。シールを貼った郵便を受け取った人の入館料が無料となる仕組み。(配布数2,549枚)

#### 休止したサービス

○切手の博物館のホームページの閲覧サービス ○「ウェルカム・カード」の発行 ○入館利用を日本の未使用切手で支払えるサービス ○「年間パスポート」の発行 ○切手万華鏡 ○発光切手ボックス

### (2) 記念品の頒布

「切手の博物館」の来館記念品として、日本及び世界各国の郵便切手類並びにスーベニアグッズを販売しています。

### (3) 市民参画

- ① 切手の博物館メンバー「MAY(メイ)」の会員を引き続き募集し、会員にはメンバーニュース「MAY」及び「受入図書リスト」を配布しました。期末の会員数は77名で、内訳はM(メジャー)メンバー47、A(アシスト)メンバー28名、Y(ヤング)メンバー2名です。
- ② 切手はり絵(切手の博物館内・出張)及び切手たんけん隊の補助役として、登録ボランティア制度を設けています。(期末登録者数3名)

## 3. 普及啓発事業

### (1) 施設内における活動

郵便切手文化に触れる楽しみを広げ、その社会的プロセスを通じてSDGs(持続可能な開発目標)の考え方を理解してもらうため、「切手の博物館」館内で以下の活動を実施しました。

- ① ワークショップ「体験!切手はり絵」を、感染対策を施して第3日曜日に実施。(休止期間:5月~7月、参加者82名)
- ② 日本郵便(株)の切手デザイナー(星山理佳氏、貝淵順子氏)とのコラボレーションによる手紙振興イベントを開催。
  - 特別展示「切手の博物館のクリスマス」(星山氏)
    - 小型印(3種)の原図及びオリジナルポストカード(1種)の原図提供
    - スペシャルトーク…12月24日(土)、参加者17名(事前応募制)

○特別展示「切手の博物館25周年記念」（貝淵氏）

スペシャルトーク…2月6日(日)、参加者13名（事前応募制）、ホームページにてダイジェスト版公開（3月25日）

③「図書館記念日」（4月30日(金)）の閉架図書利用料無料。

④2022年用年賀はがきの『裏話』を1階エントランス壁面にてパネル展示。

⑤「切手に見るウクライナ」と題したフレーム展示を1階エントランスにて実施（3月9日～）。ツイッターでもほぼ毎日発信。

#### 休止・中止した活動

○展覧会に即したギャラリートーク(展示解説)の会場内での開催 ○「ちょっとだけ体験！切手はり絵」 ○体験型イベント「切手たんけん隊」 ○開館25周年記念展と連動した書籍の発行

### (2) 社会に向けての活動

以下の活動を通じて、広く社会一般に郵便切手文化についての知識を広げ、興味を育む活動を行なっています。

①近隣の「子どもスキップ」（放課後児童施設）の切手はり絵ワークショップへ材料を提供。（11施設）

②近隣の小学校において郵便に関する出前授業を実施。（1回）

③日本郵趣協会が行っている「切手趣味週間 春の全国ミニ切手展」キャンペーンに協力し、全国の博物館5ヵ所でミニ切手展を開催。

④日本郵趣協会の社会貢献事業「手紙を書こう！プロジェクト2021」を協働して推進。

⑤「ゆうびnde自由研究・作品コンテスト2021」のコンクール審査に審査員1名を派遣。

⑥「日本国際切手展2021」に協賛し、特別賞を提供。

⑦月刊誌「スタンプマガジン」に『切手趣味週間切手発行75周年に向けて』と題する連載記事を掲載。

#### 休止した活動

○豊島区の「子どもスキップ」における「出張切手はり絵」 ○近隣の中学高校の学園祭における切手はり絵作品の出張展示

### (3) ホームページ等を利用した活動

前年度に引き続き、ホームページ等を利用した発信に力を入れました。

① 学芸員による展覧会の展示解説を毎月ふみの日（23日、8月は休館日に当たるため24日）に配信。

② 「学芸員の切手旅」と題して、切手に描かれた場所への旅と切手解説を配信。（11回）

③『おうちミュージアム』に賛同し、切手を使って家で楽しく遊んだり学んだりできるコンテンツを提供。（7コンテンツ・40種）

④オンライン切手講座を配信。

○国際博物館の日（5月18日）に「切手 de 考古学」展の展示協力者・原田昌幸氏による見どころ解説を配信 ○切手たんけん隊を配信で開催（5回）

⑤開館25周年企画として、「25年を切手で振り返ろう」と題し、開館した1996年から1年ごとに、スタッフ投票によるベスト・ワン切手をフェイスブックで紹介。

### (4) 広報活動

①切手の博物館の企画展示、特別展示、イベントなどの情報を、ホームページ、フェイスブック、ツイッター、チラシミュージアム（スマホ、タブレット専用サイト）を通じて発信しました。また、これらの情報をマスコミ各社（新聞・ラジオ・テレビ・出版社・Webサイトなど）及び関連施設（大学、団体、店舗など）へ広報しました。

- ②切手などに関するマスコミの照会・取材、また単行本や学習教材の挿絵用に切手を使いたいという申込みにも、積極的に応じています。
- ③「郵趣」などの郵便切手文化の専門誌において切手の博物館の企画展示、特別展示などを案内するほか、日本郵趣協会主催の展覧会に協力するなど、広報に努めました。
- ④切手の博物館だより「MAYっこ」を1ヵ月に1回、豊島区の「子どもスキップ」などに送り、地域への広報に努めています。
- ⑤切手の博物館の入館料割引引換券の目白駅での常置や、(公財)日本野鳥の会などの団体の会員特典に協力するとともに、「さくら日本切手カタログ」に入館無料クーポンを付けるなど、来館者促進を企図しました。
- ⑥日本郵趣協会が発行する切手カタログなどに図版を提供し、専門出版物において切手の博物館をPRしました。

#### 休止した活動

- 「体験！切手はり絵」をPRするチラシの近隣の施設等への配布

#### (5) 他館との交流

- ①豊島区立中央図書館の近隣文化施設紹介展示に協力、日本製・外国製の古い図入りアルバム(18冊)及びスコット切手カタログ(新旧3年分)を貸出展示しました。(1月29日～3月24日)
- ②「美しき凹版切手の世界」展において、お札と切手の博物館(独立行政法人国立印刷局)より、切手の原版彫刻に使用する道具(ビュラン、ニードル、ルーペ)を借用し、展示しました。

### 4. 学術調査研究事業

#### (1) 調査研究

- ①紀要編集委員会の査読を経て、研究者の調査研究成果を取りまとめた「切手の博物館研究紀要」(第18号)を発行しました。
- ②日本博物館協会主催の全国博物館長会議(オンライン開催)、東京都博物館協議会総会・日本博物館協会東京支部総会(書面開催)に出席し、学術調査研究事業の質的向上に努めています。
- ③科学研究費補助金の指定研究機関として、定期書類の提出などを行っています。

#### (2) 鑑定

日本郵便切手類の真贋の鑑定を鑑定委員会のもとに行い、55点の鑑定書を発行しました。

### 5. 顕彰事業

「第18回切手はり絵コンテスト」を開催しました。「きて★みて★きって2021」期間中に作品募集を行い、全応募作品133点を切手の博物館において展示するとともに、優秀作品には賞状並びに記念品を授与しました。

### 6. 文化支援・助成事業

#### (1) 文化支援

- ①郵便切手文化活動の支援の場として「切手バザール」(開催5回・感染症予防のため中止3回)及び「Otegamiフリマ」(日本郵趣協会と共催、開催1回・感染症予防のため中止3回)を開催しました。
- ②日本郵趣協会主催の学術調査研究発表会などに3階展示室を提供(13回)し、公益活動を支援しました。

(2) 助成

①郵便切手文化の振興を図るため、日本郵趣協会主催の展覧会において、特別賞を寄贈しました。(2件)

③ 郵便切手に関する出版物に対して、費用の一部を助成しました。(9件)

休止した活動

○紙付き古切手の寄付及び古切手の公益法人等に寄贈する活動

## Ⅱ. その他事業

鑑賞・収集の対象となる日本及び世界各国の郵便切手類を、ミュージアム・ショップにて受託販売しています。

## 附属明細書（事業報告関係）

補足すべき重要な事項はないため、附属明細書は省略する。